



☆ 社訓・誠意 ☆ ～ 社長室だより～



2021年3月末日 号

春、3月4月は華々しく希望に満ちて迎えるはずだった。コロナがこんなに世界中に衝撃を与え、世界大戦の如く多くの人の命を奪い、多くの人の夢と希望を奪った。当然私もその一人。平塚営業所を売却し万田に移転、車庫も2か所に。本社ビル修理工場も売却し、駐車場も今では6カ所に点在して皆さんに苦勞を掛けて企業再生に臨み、順調に回復してきて明るい兆しが見えてきた矢先ただけに本当にこの一年、特に後半の相次ぐ常用便のカットや乗務員の離脱は私の心身にボクシングのジョブのように衝撃を浴び続け眠れぬ日々が続いている。そんな自分を支えてくれているのは皆さんからの何気ない時に掛けられる一言です。「社長、がんばってよ」

「社長がやるしかないでしょう」と背中を押してくれています。「ありがとう♥」毎日のように論語や「あいだみつお」の今日の一言を胸に刻みヨガで呼吸法と身体をほぐして心を整え、色々な活動からヒントやひらめきを受け、今は4月新年度からの再々再起復活へのチャレンジをしようと考えています。その第一弾は平塚営業所からです。身骨注いでオーディオ混載輸送全盛期を支え、衰退した後、食品輸送主流に切り換えた時には運行の違いに苦慮しながらも今日に至るまで苦勞をかけている小林所長は昭和11年(1936年)生。今年の11月で85歳になる。本当なら悠々自適に孫、ひ孫と暮らしてよいはず。時々音信不通になるが(苦笑)365日24時間の責務を抱える環境下に私も申し訳ないとさすがに感じていた。そこに飛び込んで来てくれる人が来た!4月中旬以降小林所長から引続き運行管理及び営業を主とし徐々に小林所長の職を引継ぐ予定です。まずは平塚営業所担当の全コース、全ドライバーと同乗勤務をしながら私との協議を重ね平塚営業所にも遅まきながら文明開化(IT化)していこうと考えていますので平塚の皆さんもこの計画に賛同、協力して鈴木運送復興の「のろし」を平塚から上げてください。本社では採用の強化に身銭を切っても実行し、保有車両全車を稼働させ、既存荷主の見直し、新規運行のキャッチアップにチャレンジしたいと考えています。平塚含め大型免許を持っている方には増トン車への乗務もお願いする便が8月以降計画していますが、どうか運行に今後ともご協力ください。

上記の事が達成したら会社の近代化に向けて色々な事が出来ます。皆さんが一番望む「昇給・寸志?」もですが、気持ちよく仕事ができるような車両も。でもね、そのためには皆さん自身も果たすべき義務を忘れないでね。以前にも「良いドライバーがいる会社はつぶれない!」と伝えただけ、暴走しない安全運転の励行。自分が命を預けるトラックを毎日点検し、清掃し不具合はすぐ報告する事。客先ではきちんと挨拶し、荷物と顧客は一万円札と思って接する。怒りを感じた時は車の窓を閉め切った運転席で思いっきり大声で「バカヤロー!!」と叫び、鼻から大きく息を吸い口からゆっくり吐いて上を向いて深呼吸を3回はする。バックミラーで自分の顔みて眉間にしわが寄っていないか確認して無理でも口角あげて「ニン♥」と笑い顔を作ってから次の業務に向かう。皆さんは常に人に見られているのだと。自分の仕事の仕方が会社の繁栄に結び付くのだと再度肝に命じてね!本当ですよ!新規の案件だって皆さんに「00行く便ある?」とか「こんな仕事お宅の会社できる?」の情報を伝えてくれて便を運行した事は多々有るのですから!!ね!今後も皆さんしっかり私に就いてきてね♥」



Happy birthday



4月にお誕生日を迎える方々

- 5日 本社 東電担当 []
- 7日 本社 運行管理者 []
- 8日 本社 日清担当 []
- 10日 本社 マスキチ担当 []
- 29日 平塚 YTR プレシア便担当 []